

ついでに レポート No. 338



日本共産党中央区議団議員 おぐり智恵子の

議員活動報告

自宅: 中央区日本橋浜町3-41-5-1002
Tel/Fax 3249-1762

発行・日本共産党中央区議団議員団 Tel 3546-5563
HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

区議会第4回定例会で質問

医療・介護・保育制度の充実を



先発注も禁止されかねず、区政にも直接影響があります。私は区長に、政府に対しTPP交渉参加の撤回を求め

野田首相がすすめる環太平洋連携協定・TPPは、農業をはじめ、食の安全、医療、労働分野などあらゆる分野に大きな影響を与え、日本経済全体が衰退してしまう危険があるものです。また、区が発注する公共工事で、中小企業や地元業者への優

11月21日から30日まで区議会第4回定例会が行われました。私(おぐり)は、22日、日本共産党中央区議団を代表し、本会議で一般質問を行いました(写真)。TPPは区政にも直接影響

国の「社会保障と税の一体改革」メニュー

- 医療** 受診時のたびに100円の定額負担を上乗せ後期高齢者医療は「国保」に戻し75歳以上は別勘定の保険料に
- 介護** 「軽度者」へのサービス削減「在宅重視」で施設整備は減らす
- 年金** 支給年齢を68~70歳に引き上げ毎年0.9% = 1000億円の支給削減
- 保育** 「子ども・子育て新システム」の名で、公的保育を解体。保育園と直接契約、保育料は「応益負担」に。
- 生活保護** 一定期間で保護を打ち切る、医療費に自己負担導入など、全面的に見直す
- 財源** 消費税を10%に、法人税は引き下げる将来的に消費税を「社会保障目的税」化し、税率を20%に

〈裏面につづく〉

るよう質問を行いました。区長は、野田首相が「守るところは守る」としていること述べ、「農林水産業や国内経済への影響の懸念も指摘されているので今後の推移を注視する」という答弁にとどまりました。福祉「一体改悪」許さない私は、政府が「社会保障と税の一体改革」の名で行おうとしている社会保障の改悪(表参照)を許さないために、医療・介護・保育など各分野にわたって質問しました。医療の分野では今でも高すぎる国民健康保険料で中央区では国保世帯の3軒に1軒が滞納世帯、介護保険の利用率も50%に満たないという深刻な実態を示し、「社会保障切り捨てのオンパレード」をやめさせるため区長の見解を質しました。

区長は、政府の改革案は、「必ずしも受診抑制につながるものではない」などと、「改革案」に肯定的でしたが、「区内の特養待機者300人のうち、要介護4・5の方が半数となっており、施設整備が必要」と答弁しました。

私は、これからも、社会保障制度の改善をやめさせ、国と自治体の責任で福祉の充実をはかり、保険料の引き下げ、特養や認可保育園の増設、低家賃の住宅整備などを求めていきます。

【質問項目】

- 1 区政や区民生活に重大な影響を及ぼすTOPPについて
- 2 「社会保障と税の一体改革」について
- 3 放射線測定と除染、食材の検査について
- 4 「官製ワーキングプア」の解消について
- 5 防災と環境に配慮したまちづくりについて
- 6 築地市場問題について

全文は区議団HPをご覧ください



歩道に色分けされた自転車走行帯

自転車専用レーンの整備を

今回の区議会本会議で自転車問題がクローズアップ、各党派が取り上げました。

警視庁が自転車走行用青色レーンを検討していることから、私も、自転車事故を防ぐためにも自転車専用レーンの整備を求めました。

今年都内で1月〜8月に自転車事故が1万2600件もおきています。中央区内でも2600件(11月14日現在)で、このうち、

放射線量の測定を行っています



日本共産党区議団で購入した放射線測定器で、11月12日午前10時〜12時、日本橋地域で3回目の放射線量の調査を行いました(左写真)。

測定値は以下の通りです。

(単位はマイクロシーベルト/時)

地上からの高さ	5cm	50cm	100cm
箱崎川第2公園	0.10	0.15	0.13
箱崎公園	0.12	0.11	0.12
箱崎ポケットパーク	0.16	0.15	0.15
中洲あやめ公園	0.13	0.12	0.12
浜町保育園園庭	0.15	0.16	0.16
浜町公園砂場	0.15	0.14	0.14
浜町公園南側口	0.20	0.20	0.19
かきがら町公園	0.16	0.16	0.16

この日は「放射線量測定中」という旗を持っていたので、「数値はどのくらいですか」「ご苦労様です」と多くの方に声をかけられました。今回は除染の対象となる0.23以上の場所はありませんでした。

放射線の農作物などへの影響は今後も続くことから、党区議団は、区独自に給食食材の検査を行うよう求めています。

人との接触事故は16件となっていて、軽微な事故は届け出が少なくほとんどカウントされていないということなので、歩道上で人と接触する事故はもっと多いと考えられます。

自転車は車道が原則といわれても、駐車している車もあり危険がいっぱいです。自転車専用レーンの整備が急がれます。



法律相談会

毎月第1・3火曜日
午後3時より
中央区役所9階日本共産党控室
要予約。ご連絡ください